専門教育科目　講義科目

科目名：	産業カウンセリング概論	科目コード	EB37
		単位	4
科目主査：	永山 祐輔　　担当講師： 高桑 将太、永山 祐輔、吉野 大輔	配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

産業界において、働く現場の変化や雇用の流動化など、その悩みは多岐にわたり、従来のような集団的で画一的な管理・対応では対処することが難しい状況です。個別の職場に対応できる「産業カウンセリング」に関する幅広い知識、スキルを持った人材の育成が急務と言えます。本科目では、「産業カウンセリング」についての役割と必要性について学習し、産業界で働く人たちのためのカウンセリングのあり方について、「メンタルヘルス支援」および「キャリア支援」の視点を中心に、概論的な学習を行っていきます。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問ができるように準備してください。	
テキスト	『社会人のための産業カウンセリング入門』今村 幸太郎 他,産業能率大学出版部,最新版	

この科目の 到達目標	①産業分野におけるカウンセリングの歩みと現状を理解し、カウンセラーとしてできる援助などの方法について理解できる。 ②企業内で起こる問題や課題を捉え、働く人の抱える問題点について産業分野におけるカウンセラーとしてどう対応するのかを考えることができる。 ③産業分野におけるカウンセラーにとって、メンタルヘルスとキャリアを支援する際に有効な理論を理解できる。
成績評価 の 方 法	成績評価については、受講態度や最終試験の結果などから総合的に実施します。詳細は担当教員から説明を行います。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	参考文献を熟読し、より広く深く知識を深めることをお勧めします。また日常の社会生活について振り返り、学習した知識や技がどのように働く人のメンタルヘルス支援やキャリア支援に役立つかを考察してみましょう。
事後学習の 参考文献	『「うつ」からの社会復帰ガイド』 うつ・気分障害協会 編,岩波書店,2004年 『産業カウンセラー養成講座テキスト（第6版）』 日本産業カウンセラー協会,2012年 『働く人のためのキャリア・デザイン』 金井 壽宏, PHP新書 ,2002年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面　☑学生証